

ちくご市議会だより

CHIKUGO SHIGIKAI DAYORI TSUNAGU



第83・秋号

令和7年10月31日発行
(2025年)



筑後北中学校 桑原 翔星^{かいせい}さん作

9月定例会

- P 2 議案審議
- P 4 常任委員会報告
- P 5 議案賛否状況一覧
- P 6 決算特別委員会報告
- P 8 一般質問 ズバリ市政を問う
- P 12 筑後市女性消防団が操法大会で初優勝！
- P 13 議員研修報告、議会だよりをリニューアルしました！
- P 14 きかせて！みんなのおmoi

ちくご市議会だよりは、市民のみなさまと議会を「もっとつないでいきたい」との思いのもと『つなぐ』の愛称とともに、今号からリニューアルしていきます。



筑後市議会



令和7年9月定例会
9月5日～9月26日

議 案 審 議

◆ 23 議案（人事案件3件、議長発議1件を含む）を原案どおり可決・認定・同意



- ・筑後市議会議員及び筑後市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和7年度筑後市一般会計補正予算（第3号）
- ・財産の取得について
- ・損害賠償の額を定めることについて など

主な議案と質疑

条例改正

筑後市議会議員及び筑後市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について
（全員賛成・原案可決）

公職選挙法施行令等の改正に伴い、選挙運動用ビラおよびポスターの作成に係る公費負担単価を引き上げるなど、所要の改正を行う。

補正予算

令和7年度筑後市一般会計補正予算（第3号）
（全員賛成・原案可決）

令和7年度の予算総額を1億313万円増額し、257億456万円とする。

歳出の主なもの

◆賦課徴収費の還付金及び加算金
【1億240万円】

一部の法人において、法人市民税の確定申告に基づく法人税割額が予定申告納付額等を大幅に下回り、当初予算編成時に見込んでいた額に不足が生じたため、還付金および還付加算金をそれぞれ増額する。

◆介護保険特別会計（保険事業勘定）繰出金
【△4246万円】

令和6年度決算の確定に伴う減額を行う。

◆水路等整備保全に要する経費【1830万円】

本年6月の大雨により被災した水路のうち、国庫補助対象となる3地区について、「緊急自然災害防止対策事業債」を活用した緊急整備を実施

するため、不足する工事請負費を増額する。

令和7年度筑後市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）
（全員賛成・原案可決）

令和7年度の予算総額を6183万円増額し、47億1371万円とする。

歳出の主なもの

◆介護給付費中期財政調整基金積立金
【4379万円】

令和6年度決算に伴う剰余金を基金に積み立てる。

◆国県支出金等返還金
【1803万円】

令和6年度介護給付費などの確定に伴う国および県負担金返還のため、増額する。

決算ほか

令和6年度筑後市一般会計歳入歳出決算の認定について

(賛成多数・認定)

反対討論 一部に承認できない内容が含まれているため、一括採決の制度上反対の立場をとる。

市税の滞納整理については改善が必要である。

払いたくても払えない世代が増えているのではないかと。特に18歳以下の子どもがいる世帯には生活面での配慮を強く求める。また、市税条例に基づく免除、軽減の制度周知の改善を求める。

特定団体への補助金や運営補助金の支出は同和問題の真の解決にはつながらない。直ちに見直すべき。

※決算特別委員会については6ページ〜7ページに掲載。

財産の取得について

(全員賛成・原案可決)

筑後市消防署に配備する救急車の取得について、地方自治法第96条第1項第8号と、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求める。

取得金額
4069万円



損害賠償の額を定めることについて

(全員賛成・原案可決)

筑後北中学校体育館西側において、協働活動サ

ポーターが草刈り機を使って除草作業を行っていたところ、飛散した石により駐車中の乗用車を損傷させたもので、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求める。

損害賠償の額

67万円

問 作業にあたって、安全確保のため防護ネットの設置や車両移動などの対策が実施されていたか。

答 周囲に人がいないことは確認していたが、防護ネットは使用しておらず、注意喚起も不十分だったと認識している。

問 再発防止に向けて、どのような対策を講じる予定か。

答 協働活動推進事業の説明会で、事故の事実とその予防や予知に関する注意喚起を行った。



報告

地方独立行政法人筑後市立病院の経営状況について

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、令和6年度の経営状況を報告する。

地方独立行政法人筑後市立病院の業務実績に関する評価結果について

地方独立行政法人法第28条第5項の規定に基づき、令和6年度の評価結果を報告する。

問 令和5年度が3億6505万円、6年度が3億1755万円と2期連続の赤字となっている。

このペースでは数年で利益剰余金がマイナスに陥る。現状の認識は。

答 病院では収支改善計画等を立て、赤字解消に向けて取り組んでいる。市は病院との協議等とおして、現状の認識を共

有している。

問 債務超過だけは回避しなければならぬと思うので、ぜひスピード感をもって対応してほしい。

病院は命に直接関わる事業なので、しっかりと対応してもらい市民が安心して受診できる病院にしてほしい。

答 行政としても地域医療を守るといふ視点で取り組んでいきたい。

人事案件3件(同意)

教育委員会委員

北島 孝徳【新任】

人権擁護委員

平島 哲也【新任】

松永 美奈子【再任】

(敬称略)





★ 常任委員会報告 ★

主な審査をピックアップ

市長から提出された議案を、所管の常任委員会で詳しく審査しました。

建設経済委員会

◆柳原制水門の改修費用を繰り越す

令和7年度筑後市一般会計補正予算（第3号）のうち、水路等整備事業の繰越明許費補正については、柳原制水門（西牟田地区）の改修費用を8年度へ繰り越す。改修に向けて詳細設計を進めてきたが、設備や安全面の観点から内容を変更したため、7年度中の工事完了が困難となった。

なお、本工事は来年の出水期までに完了予定である。

問 見直しの内容は。

答 1点目は、将来的に遠隔操作ができるよう、操作盤の仕様を見直した。導入時期は未定だが、スマートフォンやパソコンから遠隔操作ができるようになる。

2点目は、大雨時も安全な場所から操作できるよう操作盤の位置を見直した。

3点目は、現在設置されている垂直はしごを階段に変更し、安全に昇降できるようにした。また、転落防止柵を高さのあるものに改修し、夜間照明を新設する。



操作の安全性を向上

総務文教委員会

◆職員の休暇等に関する条例を改正

人事院規則の改正に伴い、妊娠・出産等についての申し出をした職員に対し、休暇取得等に関する意向確認を義務付けるなど、所要の改正を行った。

問 子育て中の職員が、安心して働くことが目的だと思う。妊娠・出産の申し出をした職員の休暇取得の意向確認はどのようにしているのか。

答 育児や介護に関わるルールや、手続きをまとめたハンドブックをすでに作成しており、職員へ周知徹底している。

職員への制度通知や意向確認は、市長公室、あるいは職場の上司等からも行っている。

今回、これを明文化しても、現状から大きく変わることはない。

問 3歳未満の子を持つ職員への配慮は。

答 業務分担上の配慮や特定の時期に応援体制を取るなど、人事配置での配慮をしている。

厚生委員会

◆救急車購入へ

6月議会で令和8年度に購入費を繰り越した救急車について、4069万円で随意契約する。

問 随意契約の要件は満たしているのか。

答 指名競争入札で2社が同額。くじ引きで決定した業者が辞退したため、地方自治法施行令第167条の2第9号の規定により、今回の業者と随意契約を進める。

問 落札者の契約辞退後の対応は。

答 てん末書を提出してもらい、嚴重注意をした。

◆在留カード等への記録端末を購入

法改正に対応するため、在留カード等に住居地等を記録するための端末機等を購入するもの。

問 在留カード等とマイナンバーカードの一体化が予定されているが、その対応も見据えた端末か。

答 対応可能な端末であり、買い替えの必要はない。

議案賛否状況一覧

○賛成 ●反対

議案 番号	案 件	結 果	矢 加 部 茂 晴	川 口 樹 里	吉 岡 正 晴	貝 田 弘 子	中 村 和 弘	宇 野 晶 子	鶴 佑 季 子	大 石 昭 彦	高 野 一 成	川 口 裕 二	石 橋 章	永 松 孝 信	村 上 博 昭	富 安 伸 志	山 下 秀 則	原 口 英 喜	弥 吉 治 一 郎
第44号	筑後市議会議員及び筑後市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第45号	筑後市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第46号	筑後市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第47号	筑後市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第48号	筑後市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第49号	令和7年度筑後市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第50号	令和7年度筑後市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第51号	令和6年度筑後市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第52号	令和6年度筑後市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第53号	令和6年度筑後市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第54号	令和6年度筑後市介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第55号	令和6年度筑後市介護保険特別会計（地域包括支援センター事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第56号	令和6年度筑後市市営住宅敷金管理特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第57号	令和6年度筑後市地方独立行政法人筑後市立病院貸付特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第58号	令和6年度筑後市水道事業会計剰余金の処分の議決及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第59号	令和6年度筑後市下水道事業会計剰余金の処分の議決及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第60号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第61号	市道路線の廃止及び認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第62号	損害賠償の額を定めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第63号	筑後市教育委員会委員の任命について	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第64号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第65号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議長発議	特別委員会の設置について（決算）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※弥吉治一郎議長は採決には加わりません。

報 告

番 号	案 件
第8号	令和6年度筑後市国民健康保険高額療養資金貸付基金の運用状況について
第9号	令和6年度筑後市介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金の運用状況について
第10号	令和6年度健全化判断比率について
第11号	令和6年度資金不足比率について
第12号	筑後市土地開発公社の経営状況について
第13号	筑後市文化振興公社の経営状況について
第14号	地方独立行政法人筑後市立病院の経営状況について
第15号	地方独立行政法人筑後市立病院の業務実績に関する評価結果について
第16号	令和6年度筑後市一般会計継続費精算報告書の報告について

※報告のため、採決はありません。

税金の使い方をチェック

～もっと住み続けたい筑後市の実現に向けて～

令和6年度の各会計決算を認定

今定例会では、監査委員を除く議員全員による決算特別委員会を設置。委員長に村上博昭議員を選出し、9月22日、24日、25日の3日間、一般会計のほか特別会計、企業会計などを審査した。

その結果、各会計とも原案どおり認定した。

一般会計決算は、歳入総額253億6005万円、歳出総額235億1591万円、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、17億745万円の黒字となった。単年度収支では、4300万円の黒字、実質単年度収支も6067万円の黒字となった。

歳入

市民税、固定資産税 ともに増加

問 法人市民税が大幅に増えているが、具体的な要因は。

答 法人市民税の上位10社で全体の約6割を占めている。そのうち半数以上が海外で取引、売上があり、円安基調が続いたことが業績を押し上げた要因と考えている。

問 個人市民税は、定額減税の影響で昨年度より7・9%減少しているが、仮に定額減税がなかった場合、個人市民税の収入は伸びていたのか。

答 定額減税がなかったら、増収だった。

問 個人市民税の定額減税対象者が3万6220人で、減税額が2億803万円と説明があった。個人市民税の納税義務者や総所得の推移は。

答 課税年度の令和5年

度と6年度を比較すると、納税義務者は372人、約1・5%増えている。総所得金額については85%が給与所得で、賃金の上昇に伴い、前年度比1・8%増となっている。

問 固定資産税は、企業の設備投資の拡大により償却資産の税額が増収となっていると説明があったが、個人の固定資産税の動向は。

答 令和6年度は評価替えの年でもあった。家屋については、人件費の高騰や建築資材の値上がりの影響から評価額を算定する際の基準となる再建築費価格が例年に比べ大きく上昇した。土地についても公示価格等が例年ない変動率になっており、路線価が上昇した。結果として増収につながった。



◇市税税目別比較表

区 分	令和6年度		令和5年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
個人市民税	21億1916万円	29.5 %	23億 52万円	33.5 %	△1億8136万円	△7.9%
法人市民税	7億2276万円	10.0 %	3億8175万円	5.5 %	3億4101万円	89.3%
固定資産税	37億5327万円	52.2 %	36億 196万円	52.4 %	1億5131万円	4.2%
そ の 他	5億9977万円	8.3 %	5億9268万円	8.6 %	709万円	1.2%
合 計	71億9496万円	100.0 %	68億7691万円	100.0 %	3億1806万円	4.6%

※合計は一致しない場合があります。

※その他は、軽自動車税、たばこ税、入湯税の合計です。

ちっこペイ登録店を

増やしてほしい

問 ちっこペイの販売割合が増えてきている。市民の購買意欲を高めて20%分お得に利用できる市民向けのサービスだと思うので、加盟店を増やしてほしい。

答 加盟店は、紙媒体が約320店舗、ちっこペイが約170店舗。加盟店を増やすため、何が障壁でどんな対策ができるのかをプレミアム付き商品券発行事業運営委員会等でも議論していきたい。



し尿処理の方法について

見直しを提案

問 現在、生し尿と合併浄化槽から出るスカム

(汚泥)を衛生センターで処理している。スカムは主にバクテリア(微生物)の死骸であり、し尿と一緒に処理するのではなく乾燥させて焼却すると思う。矢部川浄化センターもあるので、衛生センターの改築費用も含め試算を行い、より効率的な方法へ見直すべきではないか。

答 生し尿も浄化槽汚泥も今のままではずっと処理をしていかなければならない状況にある。矢部川浄化センターにどういう条件ならば投入できるのかも含めてしっかりと検討したい。

土地利用型機械導入の

さらなる支援を

問 水田農業担い手機械導入事業について、新規導入だけでなく、農業振興のため機械等の更新についても補助事業の対象としてもらえないか。

答 農業生産法人等から

も要望があるので、県にも働きかけをしていきたい。



事業を活用してコンバインなどを購入(イメージ)

住宅小規模改修事業補助金制度の条件緩和を

問 リフォーム実施件数が大きく減っている。子育て世帯、三世帯同居世帯または移住世帯が対象となっているが、制度を知らない人も多いと思う。周知方法の工夫や条件を緩和する考えはないのか。

答 広報やホームページなどで周知に努めているものの、年々減ってきている。採択要件について一定の見直しが必要ではないかと思っている。来年度予算編成に向けて対応を検討したい。

◇令和6年度 一般会計・特別会計の決算額

会 計 名		歳 入	歳 出
一般会計		253 億 6005 万円	235 億 1591 万円
特別会計	国民健康保険	57 億 7492 万円	54 億 7143 万円
	後期高齢者医療	9 億 495 万円	8 億 9104 万円
	介護保険	保険事業勘定	45 億 2878 万円
		地域包括支援センター事業勘定	44 億 2449 万円
	市営住宅敷金管理	5281 万円	5127 万円
特別会計	地方独立行政法人筑後市立病院貸付	2397 万円	207 万円
		7 億 621 万円	7 億 621 万円

◇令和6年度 公営企業会計の決算額

会 計 名		収 入	支 出
水道事業	収益的収支	9 億 3911 万円	8 億 75 万円
	資本的収支	7831 万円	5 億 1557 万円
下水道事業	収益的収支	9 億 7379 万円	7 億 8928 万円
	資本的収支	3 億 9939 万円	7 億 9099 万円

一般質問

ズバリ
市政を問う



9/10
川口樹里議員
吉岡正晴議員
村上博昭議員
宇野 晶議員



9/11
高野一成議員
永松孝信議員
貝田弘子議員
山下秀則議員

一般質問の映像は、
市ホームページで
見ることができます。

今定例会での一般質問は、9月10日と11日の2日間で行われ、8人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。掲載は質問順としています。

問 関係人口に対する市の認識は。

答 関係人口とは、移住者でも観光客でもない人々のことで、地域づくりの新たな担い手として注目されている。連携して持続可能なまちづくりを進めていきたい。

問 関係人口を増やすためにはファンづくりからだと思うが、取組は。

答 SNSでの積極的な発信やふるさと納税、ふるさと応援団がある。

問 ふるさと応援団員は名刺を作成しているが、その名刺を受け取った人



川口 樹里 議員

関係人口はファンづくりからでは



日ごろから万一のことを考えた備えをしておきましょう

問 観光案内所等で提示すると粗品がもらえるなどできないか。

答 今後の発展につながるよう検討したい。

問 離れていても油断せずに備えを

問 原発事故時の対応方針は。

答 県の計画に基づき、国や県と連携し対応する。

問 避難所は開設するか。

答 屋内退避の場合、開設しない。

問 屋内退避とは。

答 屋内に入って、窓や換気口を閉めて、飲食物を屋内に保管すること。

問 重大事故が起きた時の市民が取るべき行動は。

答 屋内退避等の防護措置が出ることもあるため、正確な情報を基に冷静に動くこと。

答 いろんな面で取り組んでいきたい

市民サービスを どう考えているか

答 行政に対する信頼の入口である



吉岡 正晴 議員

問 接遇改善と市民サービス向上についての認識は。

答 職員一人ひとりが市役所の代表であることを意識し、常に市民の立場に立って行動できる職員であり続けることが大切

窓口接遇改善



窓口接遇の向上は市民サービスの第一歩

だ。まだまだ接遇に改善の余地があると認識しているため、不断の努力が必要だと思っている。

問 良い接遇を実施するための実効性のある仕組みづくりが重要だ。案内や環境改善の取組は。

答 現庁舎の構造やスペースなど多くの制約がある中、キャッシュレス決済といった設備導入等の利便性向上策や職員の工夫等で、市民サービスの向上に取り組んでいる。

問 胃がん検診の充実。国の指針に基づき実施している胃がん検診については、これまでの問診や胃部エックス線検査に加え、今年度から胃内視鏡検査を導入している。

答 ピロリ菌抗体検査などの対策を積極的に展開できないか。

答 国や他自治体の動向を見て、地元の医師会の見解も伺いながら様々な課題を踏まえて検討していく。住民にとってより良い検査体制が取れるよう取り組んでいきたい。

ピロリ菌対策は

水泳授業の民間委託は



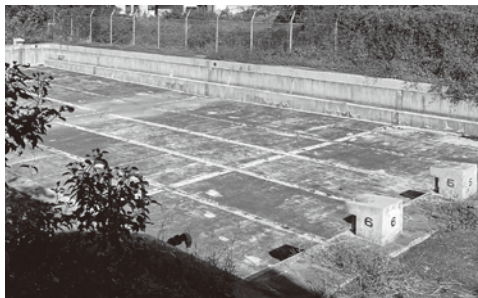
村上 博昭 議員

るが、今後の方針は。

答 平成30年度前後に、県営プールの利用と併せて民間プールの利用についても検討したが、費用面の負担が大きかった。また、費用以外にも、児童生徒をスクールの会員とするための手続きなど、様々な課題があった。

問 水泳の授業は、近年の気象状況の変化やプールの老朽化などが課題となっている。他自治体では、民間施設の活用や授業の民間委託を行っている

民間プールにおける水泳授業の実施例が全国的に増加しており、令和5



老朽化のため利用できないプール

答 プールの他校利用や共同利用が基本

年度には検討を再開している。コストや利用条件が従前よりも緩和され、利用の可能性は高まっているため、今後も引き続き検討していく。しかし、プールの他校利用や共同利用が基本的な考えである。

教育施設老朽化 今後の課題は

問 教育施設の老朽化が進む中で、今後の方針は。

答 多くの学校施設は、昭和40年代後半から50年代に学齢期人口の増加に対応するため鉄筋化建設されており、施設全般の老朽化が進んでいる。施設の状態や財政負担を総合的に勘案しながら、長期的な視点で持続可能な施設の整備を進めていく。

E Vスクールバスの故障の対応は

答 E Vスクールバス全車の使用を停止している



現在は使用を停止している
E Vスクールバス

問 筑後南小学校に全国で初めてのE Vスクールバスを採用した目的は。

答 故障の原因究明は。車両の不具合が頻発採用を決定した。

問 近年、小学校のE Vスクールバスの故障問題や、中学校のプール棟・給食棟改築設計業務の事故繰越問題など、市のガバナンスに欠ける事例が連続して発生している。これらのことに対する市の取組は。

答 市民の信頼なくして市政運営は成り立たない。これまで、組織全体の事務処理の適正化を図るため、職員一人ひとりの意識や能力向上を目的とした研修等を継続的に実施している。

問 近年、小学校のE Vスクールバスの故障問題や、中学校のプール棟・給食棟改築設計業務の事故繰越問題など、市のガバナンスに欠ける事例が連続して発生している。これらのことに対する市の取組は。

市のガバナンス (内部統制制度) の取組は

した根本的原因について契約先の会社には説明を強く求めている。また、E Vスクールバスの運行再開時期は未定であり、現在一時的にディーゼルバスへの運行に切り替えている。



宇野 晶 議員

問

外国人は年々増え、現在日本の総人口の約3%を占める。本市の在留外国人の推移は。



高野 一成 議員

答 外国人住民は増加傾向であり、令和3年度末で468人、7年度7月末で784人。

問 年金加入は義務であり脱退できないが、外国人は帰国後に再入国予定

以内に行っている。

問 災害時の外国人の避難対策、地域での避難訓練等の参加は。

答 雇用先の企業で、避難訓練等、緊急時における対応の確認などを確実にしている。

外国人との共生推進体制は

努めている。

であつても、納付期間に

答 受け入れ企業・監理団体と連携し対応

FUKUOKA IS OPEN CENTER
Life and Work Support Center for International Residents

外国人のみならず生活の中で困っていること、分からないことをいろいろな言葉で相談できます。気軽に相談してください。
※お金はかかりません。※秘密は守ります。

在留資格の手続きは…
仕事を探したい
住むところをさがしたい
日本語をまなごう
おつとこ 夫や子どものことを相談したい
役場での税金手続き どうすればいい…

・窓口は予約をした人を優先します。
・オンラインは必ず予約をしてください。
相談内容を入力してください。

予約

アクロス福岡に設置された外国人の相談窓口

市長3期目への挑戦は

答 勇気を持って挑戦する



永松 孝信 議員

問 農業関連施策における4年間の事業実績は。
答 交付金を活用した営農環境の保全、新規就農者の確保、土地利用型農業の省力化や効率化など、令和3年度からの4年間で8億7千万円を支出し



再生整備に取り組んでいる羽犬塚駅周辺

ている。農業関係者の要望に応え、農業の振興を図っている。
問 水害対策の取組は。
答 危険箇所の水害対策を重点的に実施した。倉目川の緊急治水対策工事や水路改修、老朽施設の更新のほか、広域連携による先行排水などに取り組んだ。
問 羽犬塚駅周辺地区まちづくりビジョンに関する取組の内容は。
答 令和3年7月に「JR羽犬塚駅周辺地区エリアプラットフォーム」を設立し、4年3月には「JR羽犬塚駅周辺地区まちづくりビジョン」を策定した。6年3月には「都市再生整備計画」を策定し、国の補助金を活用して、駅周辺の浸水対策や道路整備、駅前広場再編等に取り組んでいる。
問 3期目に挑戦し、多くの課題解決のために頑張っているが、決意は。
答 新たな発想で未来への責任を果たしたい。勇気を持って挑戦する。

多文化共生の考えは



貝田 弘子 議員

問 外国人住民が増加している。多文化共生社会の実現に向け、市の認識と今後の取組は。
答 外国人住民は、市を支える大切な市民であり、共に暮らしていく社会を目指して取組を進める。
問 第六次総合計画の、「国際化・多文化共生の推進」の進捗状況は。
答 多文化共生を理解している市民の割合や、外国語等を用いた情報提供件数の指標は目標を達成している。今後も市内で連携し、多文化共生の推進に努める。

問 外国人住民の声を行政にどう反映させるか。
答 外国人住民と直接向き合い困りごとを把握し、地域と連携しながら前に進めていく。

特別障害者手当の周知は

問 特別障害者手当(※)の制度を知らない人が多いのでは。
答 周知の仕方に改善の余地がある。関係部署としっかり連携し、情報提供や丁寧な相談対応に努



共に生きる多文化共生のまち

める。
問 受給者数は。
答 年々増加しており、令和7年8月末で55人である。
問 要介護認定の結果通知に特別障害者手当の案内を同封しては。
答 関係部署で協議する。(※)精神または身体に著しく重度の障害があり、日常生活で常時特別の介護が必要な状態にある在宅の20歳以上の人に、障害者手帳の有無に関わらず支給される手当。

答 共に暮らしていく社会を目指す

市長3期目出馬への決意は

答 未来を切り開く挑戦をしていく



サンコアでの戦時資料展

問 2期目4年間について、市長が掲げた公約のうち、防災・子育て・行

答 財政運営の実績は。防災については、流域自治体や国・県、水利団体、地域と連携し先行排水に取り組み、全国的に評価された。子育てについては、市の独自施策として6年間で129人の保育士を確保し、4年間も待機児童ゼロを継続している。行財政運営については、



山下 秀則 議員

答 小・中学校での平和学習のほか、平和授業として戦時資料展や図書の特設、戦争遺品の収集などをやっている。また、学校の平和教育は、戦争の悲惨さや平和の大切さを身近に実感できる体験的な学習が重要だと考えている。

問 戦後80年が経過したが、子どもたちの平和意識が薄れてきていると感じる。戦争を後世に語り継ぐ平和教育の現状や考えは。

戦後80年、戦争なき平和を未来に語り継ぐために

市長就任時より単年度収支を黒字にし、健全な財政状況から赤字を連続させなかった。
問 3期目出馬の決意は。
答 進化をテーマに掲げ、筑後市の持つ良さと可能性をさらに高め、未来を切り開く挑戦をしていく。



筑後市女性消防団が操法大会で初優勝！

～福岡県代表として全国大会へ～



9月7日に嘉麻市で開催された「第6回福岡県女性消防操法大会」に本市消防団の女性消防隊7人が出場し、見事優勝を果たしました。

本大会では本市の初優勝に加え、指揮者と2番員の2人が個人賞を受賞されました。



訪問の様子



県大会へ出場した選手の皆さん

9月18日、その報告のため、隊員たちは弥吉治一郎議長を訪れました。弥吉議長は、隊員たちに対し「頑張ってください」と激励しました。

隊員たちは福岡県代表として、10月28日開催の横浜市で行われる全国大会に出場。

議員研修報告

～ 広報研修 ～

9月18日、西日本新聞論説委員の前田隆夫氏を講師に迎え、「議会広報と議会改革」をテーマに議員向けの広報研修を行いました。

研修では、議会広報の目的や役割に加え、多様な住民参加の手段や機会、議会機能の向上、そして議会活動に住民が参加することの重要性についてご講義いただきました。

質疑応答の場面では、議会だよりの編集方法やSNSを活用した情報発信について、議員より質問がありました。

これからも、議会だよりやホームページなどの情報発信に努め、「開かれた議会」を目指して取り組んでまいります。



研修受ける議員たち

議会だよりをリニューアルしました！

議会だより編集特別委員会では、リニューアルに向けて協議を重ね、このたび新たな紙面としてお届けすることになりました。変更点の一部を紹介します。

これからも、より読みやすく親しみやすい紙面づくりに努めてまいりますので、今後ともご愛読くださいますようお願いいたします。

◇全議案の賛否状況を掲載

今までは賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載していましたが、今号から全議案の賛否状況を知ることができます。（P5に掲載）

◇中学生へのインタビュー内容を掲載

生徒に学校や筑後市に関するインタビューを行い、その内容を裏表紙に掲載しています。

また、第83号から第85号の表紙に、市内の中学生が描いた絵などを採用します。



生徒へのインタビュー

きかせて！みんなのおもい



絵を描いてくれた筑後北中学校の生徒のみなさん
(左から) 山下柚咲さん、西原菜帆さん、江頭実花子さん、
村元凜さん、桑原翔星さん、小田総真さん、
甲斐田大夢さん、倉原旺士朗さん

筑後北中学校の生徒8人の力作の中から、表紙の絵が選ばれました。絵を描いてくれた生徒へのインタビューの内容を掲載します。

表紙作品の説明

親戚の家に行くたびに、幼い時から見ていた風景です。

他の人はどのような思いを込めて作成しましたか？

「筑後市のシンボルとして広めたい」「過去から続く未来への幸せ」などです。

筑後市の好きなところは？

地域のみなさんが優しく、気軽に声をかけてくれるのでコミュニケーションが取りやすいところです。

次回12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
					本会議 (議案上程)	
7	8	9	10	11	12	13
			本会議 (一般質問)			
14	15	16	17	18	19	20
	本会議 (質疑応答)		常任委員会		本会議 (討論採決)	

議会を傍聴しませんか？

本会議は、どなたでも傍聴できます。

【議 場】 市役所本庁舎2階

【受 付】 傍聴席入口の受付簿の記入をお願いします。(事前申し込み不要)

【一般質問】 順番が決まった後、開会日3日前に、順番と内容を記載したチラシを設置します。

<設置場所>

総合案内窓口・図書館 など

【生 中 継】 インターネットや市民課ロビー、サンコアロビーのテレビでも生中継をしています。

【託児予約】 傍聴希望日の4日前までに、お申し込みください。 **利用料無料**

問い合わせ・申込先(議会事務局)

☎ 0942-53-4013



※午前10時に開会します。会議の日程などは変更になる場合があります。議会事務局にお問い合わせください。

※12月定例会の日程は、市長選挙(11月)の結果によって変更となる場合があります。上記は、例年どおりの日程を掲載しています。

委員長 川口裕二
副委員長 川口樹里
委員 川口樹里
委員 矢部 晴
委員 貝田 弘子
委員 中村 弘
委員 宇野 和昭
委員 村上 昭

ちくご市議会だより
編集特別委員会

あ と が き
日本は四季の国、それぞれ季節に独自の風景と文化がある。
春は桜が咲き、新しい生活が始まる季節。夏は梅雨と猛暑、夜空を彩る蛍と花火大会。秋は紅葉が美しく、収穫の季節。冬は雪景色と正月、温泉が恋しい。
しかし近年、そのバランスが崩れつつある。気候専門家は、夏と冬の「二季」になる可能性を指摘。これは日本の文化や生活に影響を与える深刻な変化である。
四季の美しさを守るためにも、我々の日々の行動が問われている。
(村)